

守谷市協働のまちづくりワーキングチーム会議の報告

1 ワーキングチーム設置の経緯

昨年度の第1回守谷市協働のまちづくり推進委員会でワーキングチーム設置に関して提案があり、協働事業の見直し等について意見交換をすることとなった。

2 ワーキングチームメンバー

	氏 名	備 考
1	佐藤 鏡子	公募委員
2	須賀由美子	公募委員
3	小澤 道子	手づくりを通じての多世代交流サロン「つむぎ」
4	徳田 太郎	NPO 法人日本ファシリテーション協会 ※進行役
5	高木 保	守谷市自治会連絡協議会 元会長

3 ワーキングチーム会議実施日

- ①平成31年3月11日 午前10時～正午
- ②平成31年4月19日 午前10時～正午

4 ワーキングチーム会議の目的

「市民提案型協働事業」と「市民公益活動助成金交付制度」をより「市民にとって身近なもの」にするために、どのように見直せばよいかを検討する。

※「身近なもの」とは

広く知られていて、理解しやすいもの・応募しようと思えて書類の作成などが容易なもの

5 ワーキングチーム協議内容

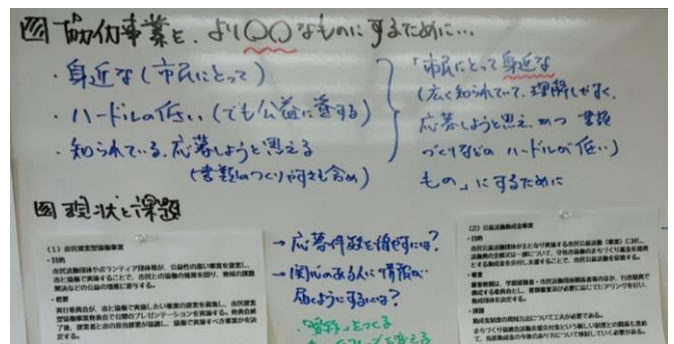
- ①二つの事業の「現状」と「課題」の整理
- ②課題に対する具体的な方法（見直し案）
- ③見直しのロードマップ作成
- ④公益活動助成金申請書の簡素化

【市民提案型協働事業】

現状と課題

- ・応募が少ない、関心のある人に情報が届いていない
- ・事業発表は、プレゼンの経験が必要で難しいイメージがある
- ・発表後の流れ（担当課との協議）の理解が不十分
- ・市と協働で実施するため、事業開始まで時間がかかる

【提案者による発表会】



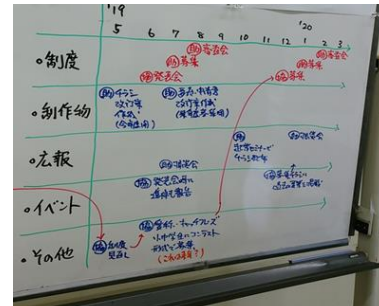
改善方法

- ・愛称、キャッチフレーズを募集する
- ・発表者が体験を語る場（機会）をつくり、活動の交流を図る
- ・これまでの発表実績をシンポジウム、冊子作成などで報告する
- ・事業の進捗をリアルタイムで発信する
- ・公益活動助成金助成事業のステップアップと位置付けPRする

【公益活動助成金事業】

現状と課題

- ・新規申請事業数の減少
- ・申請団体間の情報交換の機会がない
- ・周知方法に工夫（SNS等）はあるが、広報が不十分



改善方法

- ・パンフレット等に申請事例を掲載し、親しみやすいものにする
- ・事前説明会等の実施、相談業務実施の周知
- ・申請様式（記載項目）を簡略化し、記載を容易にする
- ・他機関（商工会の起業セミナー等）と連携する

【見直しのロードマップ】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度				助：審査会						助：審査会	
			助：募集						助：募集		
	協：発表会							協：募集			
制作物			助：申請書改訂案作成						助：要綱改正準備		
	助：募集チラシ改善										
広報			助：相談会計画						助：相談会計画		
						助：セミナー等でチラシ配布					
イベント	協：発表会で進捗報告							協：募集チラシ改善			
その他	協：制度見直し	協：愛称・キャッチフレーズコンテスト(来年に向け計画)									

6 改善点

【市民提案型協働事業】

- ・市民提案型協働事業発表会の主催者（実行委員会）に、愛称・キャッチフレーズ募集の提案

【市民公益活動助成金交付制度】

- ・募集チラシ、要項へ応募事例の写真の掲載（制度PRの強化）
- ・市内主要企業（スーパー、銀行）へのチラシ配備
- ・応募様式の簡略化に向けて、申請書様式案を作成中